

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

分担研究報告書

若年乳がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の構築
（分担研究課題名）

研究分担者 氏名 二村 学

所属施設名 岐阜大学大学院医学研究科 腫瘍外科学

職名 准教授

研究要旨

33歳女性（既婚者）、Stage IIA 乳癌の治療時における妊孕性温存に関するカウンセリングならびに心理支援を行った（本研究に基づく臨床研究として）。その結果を研究事務局に送付した。

A. 研究目的

若年乳がん患者のサバイバーシップに重要な将来の妊娠・出産に関して、がん・生殖医療における効果的な心理支援を明らかにし、全国のがん・生殖医療に普及することを目指す。

B. 研究方法

遠隔転移のない乳がん初発で39歳以下の既婚女性とその配偶者を対象として、無作為化比較対照試験を行う。

▶ 対照群（Aコース）（対面式心理サポート2回）：O!PEACE冊子教材を対面式で2回（がん治療前2回）実施に割り当てられた群

▶ 統制群（Bコース）（通常診療群）：通常診療としてがん・生殖医療に関するパンフレットが配布されるだけで、その他の介入は一切なく、対照群と同じタイミングでアンケートのみ2回回答するという方式に割り当てられた群

調査時点は、次の2時点とする。

▶ 第1回アンケート：がん告知後から数回の受診日で同意を得た直後（精神状態のベース

ラインとして収集）

▶ 第2回アンケート：がん治療直前／がん治療前2回介入後（つまり第1回アンケートから1, 2ヶ月後）

C. 研究結果

解析中

D. 考察

現時点では記入不可

E. 結論

施行中につき未定

F. 健康危険情報

なし

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

ただし、班研究報告会では報告した。

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案

なし

3. その他

なし